

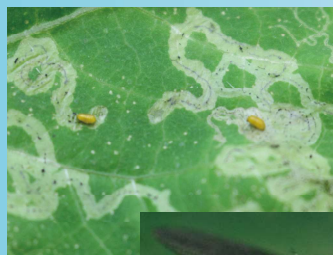
# ハモグリバエ類、クロバネキノコバエ類対策に



# トリガード®液剤

農林水産省登録 第22178号

「トリガード」はGOWAN CROP PROTECTION社の登録商標



トリガード液剤は、ハモグリバエ類の卵から前蛹に至る生育ステージで効果を発揮します。成虫に対する直接的な殺虫作用はありませんが、トリガード液剤を処理したメス成虫の産下した卵の孵化率の低下、孵化幼虫の死亡など、次世代の密度を低下させる作用のあることが知られています。

## 独特なタイプの有効成分

- 唯一の表皮硬化型IGR剤です。
- 既存剤に抵抗性の発達したハモグリバエ類にも高い効果を示します。

## 速く効く!被害を抑える!!

- 散布後、速やかに効果発現し、ハモグリバエ類の食害を停止させます。
- ハモグリバエ類が発生している状態で散布しても、被害の増大をくいとめます。

## 効き目が長い!

- 2~3週間の残効が期待できます。
- ハモグリバエ類の発生が予想される場合、予防的な散布でも高い効果が得られます。

## すばやく浸透移行!!

- 散布後、有効成分が速やかに浸透し、作物全体に移行します。
- 散布後に展開した新葉にも浸透移行します。

## 有用・天敵昆虫に安全!!

- 散布翌日にマルハナバチを導入できます。(安全使用日数1日)
- 天敵昆虫に影響が少なく、IPM(総合的病害虫管理)に適した選択性害虫防除剤です。

## 液剤だから汚れない!!

- 散布後の汚れが気にならない液剤製剤ですので、収穫前でも安心して使用できます。

トリガード液剤は、従来のIGR剤と違いクチクラ層の形成を異常に増進させ、害虫の表皮を硬化、厚化させることにより体節の断裂、体液の流出、運動阻害を引き起こすことでハエ目に効果を示します。

## 適用作物・害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シロマジンを含む農薬の総使用回数		
メロン	トマトハモグリバエ	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内		
トマト	ハモグリバエ類				2回以内		2回以内		
ミニトマト					3回以内		3回以内		
なす	マメハモグリバエ			2回以内	2回以内		2回以内	2回以内	
セルリー									
しゅんぎく チンゲンサイ	ハモグリバエ類			1000~2000倍	100~300ℓ/10a		収穫7日前まで	2回以内	2回以内
とうがん かぼちゃ							収穫前日まで	3回以内	3回以内
食用ぎく							収穫7日前まで	2回以内	2回以内
きく(葉)								1回	1回
バジル							収穫14日前まで	2回以内	2回以内
マッシュルーム		クロバネキノコバエ類	1000倍			1.5ℓ/m <sup>2</sup>	覆土後、ただし収穫14日前まで	1回	覆土表面 散布
花き類・ 観葉植物	マメハモグリバエ		2ℓ/m <sup>2</sup>	発生初期	4回以内	土壌灌注	5回以内 (土壌灌注は1回以内、 散布は4回以内)		
			100~300ℓ/10a						

R6.10月15日現在

## 使用上の注意事項

- カラー及び花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用后14日間は入水しないでください。
  - 本剤は主として幼虫に対して効果を示すので、できるだけ発生初期から散布してください。
  - 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ、所定量の範囲内で調節してください。
  - 調製した薬剤は、調製した当日に使い切ってください。
  - 使用済みの空容器、散布薬液の調製容器、散布器具などは水でよく洗浄し、その洗浄液は当該薬液を処理した圃場内で灌漑水路、排水路、河川、湖沼、井戸などの水系へ流れないように、始末してください。
  - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
  - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
  - 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 保管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。

## 有用昆虫に対する影響

### 影響日数の目安

ショクガタマバエ		コレマンアブラバチ		ミヤコカブリダニ		チリカブリダニ		ククメリスカブリダニ		タイリクヒメハケカメシ		タバコカスミカメ	
幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫
—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	◎	○	◎

オンシツツヤコバチ		サバクツヤコバチ		イサエアヒメコバチ		ハモグリコマユバチ	
幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫
○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎

IOBC評価基準 (死亡率)	◎：影響なし（＜30%） ○：わずかに影響あり（30~79%） —：事例なし
-------------------	--

### 安全使用日数

マルハナバチ	ミツバチ
1日	0日

※散布時には巣箱を施設外に出してください。